

定住自立圏の形成に関する協定書における取組内容等の追加

背景

人口減少が進む中、少子化対策が求められている。少子化の要因の一つに晩婚化・非婚化が挙げられるが、結婚していない理由として「出会いがない」「理想の相手に出会えていない」ことがアンケート調査等の結果として出ている。今後、地域の活性化のためには、結婚を望む人が結婚でき、安心して子育てできる社会づくりが必要である。

概要

協定書の「別表 2（第 3 条関係）結びつきやネットワークの強化に係る政策分野 3 地域内外の住民との交流」に以下を追加する。

（以下、協定書への記載内容案）

施策

出会い・結婚への支援

取組内容

出会い・結婚の希望をかなえるため、出会い・結婚に関する情報の提供、相談への対応、セミナーの開催などの取組を行う。

中心市の役割

乙と連携し、出会い・結婚への支援に必要な取組を行う。

連携市町の役割

甲と連携し、出会い・結婚への支援に必要な取組を行う。

協定書の変更に向けての流れ

- ・本取組を協定内容に追加するかどうかについて、各連携市町は中心市との調整によって 1 月中旬までに判断する。
- ・協定書に記載する具体的内容については、中心市と連携市町の調整によって定める。
- ・関係市町議会における議決を経て、3 月末までに協定書の変更締結を行う。
- ・伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンに記載する事業費及び実施スケジュール等を中心市と連携市町によって調整し、6 月までに平成 28 年度伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンに反映させる。